

24 ティーリルーキンラーティ (Tiiliruukin-lahti) に到着しました。ここで育った高品質の粘土質の土壌はレンガの製造に適していたため、この地域の土壌はヘルシンキに敬意を払いました。数百年前、ピーク時には25のレンガ工場がありました。

25 右側のビーチのように、この街のビーチは、バルト海の海が暖まるにつれて、夏には水泳や日光浴をする人たちでいっぱいになります。最も暑い夏の日には、ここは30度にもなり、海水温は20度まで上がることがあります。

26 木の後ろに見える美しい茶色の縞模様の別荘は、その音響の面でも文化的および歴史的に豊かで見事です。この別荘は、世界的に有名なソプラノ歌手のアイノ・アクテが所有していました。

27 私たちが通過しているこれらの栈橋は、都市型の釣り、セーリング、モーターボートのために確保されています。夏には、ヘルシンキの水路はボートに乗って海洋生物を楽しむ人たちでいっぱいになります。ヘルシンキのボート乗りのために、約12,000のバースがあります。

28 右側にあるのは閑静なクロサーリ (Kulosaari)。中世から人が住んでおり、現在多くの大使館があります。この島では高層ビルは許可されていません。

29 新しい市街地、カラサタマ (Kalasatama) に到着します。現在、このエリアにはREDIショッピングセンターがあり、地下鉄が通っています。ヘルシンキの地下鉄は、世界最北端にあることをご存知でしたか？

30 壮大な白い橋はグランドファザー橋と呼ばれています。これは2016年に開通した交通量の少ない橋で、カラサタマ (Kalasatama) からムスティッカマー (Mustikkamaa) までをつないでいます。

31 左側には、ヘルシンキ動物園のコルケアサーリ (Korkeasaari) があります。この動物園の面積は20ヘクタールを超え、まるで世界のミニチュアのようなです。島には、北部のツンドラから湿度の高い熱帯雨林に至るまで、それぞれの環境で数百種の植物と150種以上の動物を探索できます。

32 私たちの前のドックには砕氷船がいます。冬に海が凍ると、航路を開き続けるために必要になります。強力なエンジンが船の船首を氷の上に持ち上げ、その重量が船の下の氷を押しつぶします。

33 カタヤノッカ (Katajanokka) 島を通過します。カタヤノッカはもともと半島でしたが、現在はカタヤノッカ運河によって本土から隔てられています。運河を渡る4つの橋。カタヤノッカ地区は、アールヌーボー様式の建物のアパートが高価で人気のある一流の住宅地です。

34 左側のカタジャンカンルオト (Katajanokanluoto) は、ヘルシンキの前にあって一般に公開されている、小旅行とレストランの最も小さな目的地です。

35 大型カーフェリーが再び見える湾に戻りました。左側はシリヤライン (Silja Line) フェリーがストックホルムに向かうオリンピックターミナルで、右側はタリンとストックホルムに行くことができるバイキングライン (Viking Line) ターミナルです。

36 今、私たちは出発点であるマーケットスクエアに近づいています。目の前にはヘルシンキのエンパイアセンターがあり、大聖堂、水色の市庁舎、右側には大統領官邸とウスペンスキー大聖堂があります。

クルーズを楽しんでいただけただしょうか。

船を降りるときは、忘れずにすべての持ち物をお持ちください。

ご乗船ありがとうございました。
またのお越しをお待ちしております！



日语

ルートマップ

BEAUTIFUL CANAL ROUTE
CITY HIGHLIGHTS



HELSINKI
SIGHTSEEING



1 こんにちは-ヘルシンキの美しい諸島へのストロマ (Stromma) のクルーズへようこそ。

世界で最も美しい旅客港の1つであるサウスハーバーからスタートします。ここを訪れるクルーズ船にも評判です。スウェーデンやエストニア行きなど、港からの船の交通も活発です。

2 右側には、評判の高い地区、カイヴォプイスト (Kaivopuisto) があります。ここには多くの大使館もあります-前景のレンガ造りの建物は米国大使館の一部です。

3 右側にある木製の栈橋はカーペットの栈橋で、フィンランドの古い伝統に沿って、私たち一人一人がカーペットを洗うことができます。

4 ビーチフロントの遊歩道沿いには人気のカフェがいくつかあります。その中には、素敵なエコロジーカフェ、CafeCaruselがあります。

5 ビーチには、Löylyと呼ばれる印象的で多層の木造建造物があります。この建物は4,000枚の木片で構成されており、その構造は再生木材を利用しています。

6 現在、ウーニサーリ (Uunisaari) 、リウスカサーリ (Liuskasaari) 、シルパレサーリ (Sirpalesaari) などのいくつかの小さな島を通過しています。ヘルシンキの中心から離れた多くの島々では、4月から11月までボートが出ています。

7 右側はハラカ (Harakka) 島です。都会の住人に人気のレクリエーションエリアです。

8 ヘルシンキ諸島には300以上の島がありますが、目の前の島は中でも非常にユニークです。スオメンリンナ (Suomenlinna) の要塞の島です。

かつて無敵と見なされていたスオメンリンナは、海からの強力な敵の攻撃にも耐えることができる

ジブラルタル北部であると考えられていました。その防波堤は10メートルの厚さで、合計6つの相互に接続された島にまたがる伝統的な軍事スターを形成しています。海から来るすべての船は致命的な十字砲火にさらされるでしょう。しかし、要塞はスウェーデンの統治中に攻撃されませんでした、そして攻撃がついに始まったとき、それは驚くべき方向から来ました：凍った海の陸を超えて。

9 左側の小さな島はロナ（Lonna）島です。ロナにはかつて、機雷の地雷除去作業に必要な消磁ステーションがありました。現在、ロナ島はコンサートやレストランで賑わうヘルシンキの夏の不可欠な場所です。

10 現在、ヴァシッカサーリ（Vasikkasaari）島を通過しています。1919年に弾薬庫が爆発したとき、島は完全に破壊されました。爆発は非常に大きいもので、何千もの周辺の窓を粉々にしました。現在、島には約50の別荘があります。

11 水に浮かんでいるように見える建物は、大手エネルギー会社のサウナ兼展示室です。これはかつての石油港であるコイラサーリ（Koirasaari）の船積みドック構造の上に建てられています。

12 クルーヌヴォレンランタ（Kruunuvuorenranta）に近づいています。長い間、クルーヌヴォレンランタのかなりの部分が石油港として使用されていましたが、現在、その敷地には大規模な新しい住宅地が建設されています。

13 フィンランドで最も長い橋、クルーヌヴォレンシルタがこの地域に建設されています。この約1,200メートルの長さの橋は、コルケアサーリ（Korkeasaari）の一部であるパロサーリ（Palosaari）とクルーヌヴォレンランタの間の公共交通機関、歩行者、サイクリング用ルートとして利用されています。

14 右側の大きな島は、私たちが訪れることのできない数少ない島の1つです。ここはヘルシンキを守る警備隊の基地であるサンタハミナ

（Santahamina）駐屯地です。兵士が都市防衛戦略の訓練を受けている国防大学のある場所であるため、そこに行くことは禁じられています。

15 ヘヴォサルミ（Hevossalmi）を通過するときは注意してください。左側のラージャサロ（Laajasalo）と右側のサンタハミナ（Santahamina）の間の移動橋は非常に浅いです。

16 左側は、ラージャサロ島の南東部にあるジョラス（Jollas）です。ご覧のように、ヘルシンキの人々は常にビーチを便利に利用しています。そこにはいくつかのサウナが建てられているので、町の人々でさえサウナからさわやかな水に飛び込むことができます。

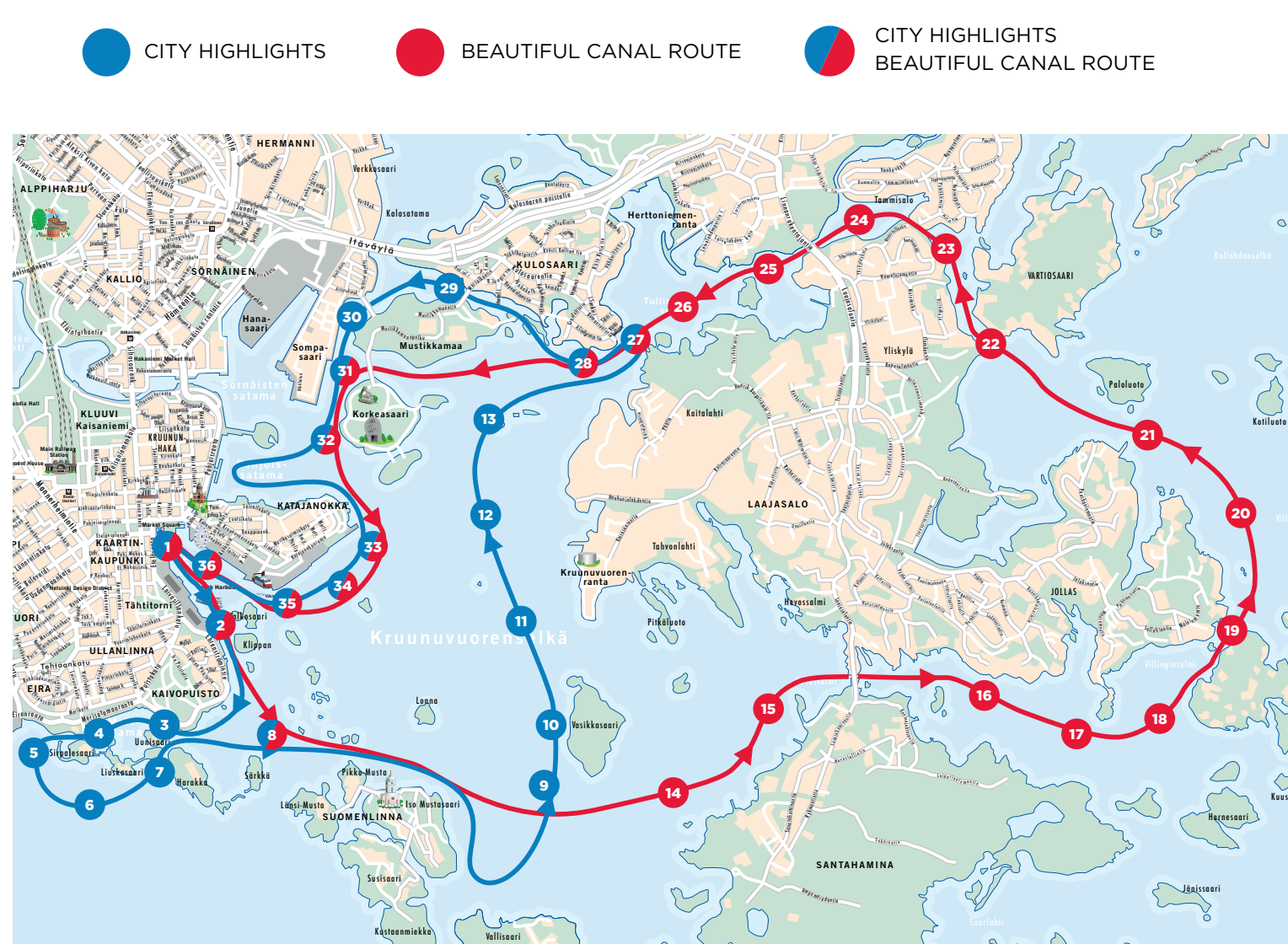
17 周りにたくさんの島があるので、ヘルシンキの住民にとって週末に街の喧騒から逃れるのは簡単です。30分で自然に到達し、島々の生活を満喫することができます。

18 自然と森は、何世代にもわたってフィンランドの作家、ミュージシャン、デザイナーに影響を与えてきました。森は私たちの魂の一部です。

19 右側の島はヴィッリンキ（Villinki）です。ここはヘルシンキで最大の夏の別荘エリアの1つですが、歴史的に価値があるとも考えられており、その別荘、庭園、栈橋の多くは保護されています。

20 これらの島々は何百年の間ヘルシンキを保護してきました。千年前、人々は海賊であるバイキングの到来を警告するために火を灯し、人々が森に入って隠れるために十分な時間を確保できるようにしました。約80年前、我が国の軍隊は無人島に火を放ち、ソビエト爆撃機を惑わせました。そして市外にも。

21 昔、密輸業者はしばしばこれらの海に隠れて、禁じられた貨物をヘルシンキに運びました。1920年代の禁酒法の時代には、酒類ビジネスが繁栄し、実際の警官や強盗の闘争はしばしば致命的でした。しかし、密輸業者は、自分たちを無実に見せるための独創的なトリックを巧みに使いました。彼らは酒類の入った木箱に大きな塩の袋を付け、警察がそれらを発見したら、その貨物を海に捨てたのです。塩がゆっくりと



水に溶けるので、彼らは塩袋に取り付けられた木箱が表面に浮かび上がるまで待つだけでした。

22 右側の1平方キロメートルの楽園はヴァルティオサーリ（Vartiosaari）。市街からわずか7kmの場所にあります。たくさんの別荘があるにもかかわらず、ここはとても静かで、鹿が泳ぎ、その果樹園

や松林にはたくさんのコウモリがいます。

23 ラーヤサロ（Laajasalo）運河に到着しました。橋の下に行くときは頭を下げてください。深さ1.5メートル、幅4.5メートルです。